

「広報みなの」表紙の写真を募集します

広報みなのは、11月号で第700号を迎えます。これを記念して、広報みなの11月号の表紙を飾る写真を募集します。写真にまつわるエピソードを添えて、ぜひご応募ください。

テーマ 皆野町を感じる写真

- 例)・いきいきとした町民の様子が伝わる写真
- ・忘れられない皆野町の風景写真

募集内容 写真、写真に対するエピソード(80字程度) ※撮影時期は問いません

募集枚数 1人2点まで

写真形式 写真データまたは現像写真

期間 9月1日(金)～30日(土)

募集条件 応募者本人が撮影した写真で、他のコンテストや写真展に未発表のもの。合成や事実を変えるような加工や修正を施した作品、立入禁止区域で撮影された写真は応募不可。

応募方法 いずれかの方法でご応募ください。

(1)町ホームページの応募フォームから送信

(2)応募用紙に記入し下記窓口へ郵送または持参

※応募用紙は下記窓口または町ホームページで取得できます。

※詳細は町ホームページをご確認ください。



町ホームページ

問合せ 企画財政課(⑪番窓口) ☎26-7334

町長

コラム

vol.11



防災力の強化

今年の秩父音頭まつりは残念ながら台風7号の影響により中止とさせて頂きました。4年ぶりの開催を楽しみにされていた方も多かったと思いますが、皆さんの安全を最優先した判断ゆえ何卒ご理解の程、よろしくお願いいたします。

さて、8月20日(日)、猛暑の中、金沢地区で「住民参加型防災訓練」を行いました。この訓練の目的は、地域の自主防災組織による地域避難所開設訓練と、避難行動要支援者の避難支援について、自主防災組織と民生委員が的確で迅速な支援活動を行えるか検証するもので、元金沢区、出牛区、金沢谷津区の3区合同での実施となりました。地域避難所は自主防災組織が開設する第一避難場所です。下金沢公会堂、金沢生活改善センター、谷津集会所では地域避難所運営マニュアルに基づいて、スムーズに避難所開設を行うことができました。

防災倉庫の物資確認では、非常灯の電球切れなど、定期的な備品チェックが必要ということが改めて認識されました。また、避難所のトイレが和式のみで使いづらいことや、畳の部屋でも長時間の滞在には椅子が必要といった意見も出され、地域避難所としての改善点も洗い出されました。

秩父地域は災害が比較的少ないと言われていますが、地球温暖化による気候変動は激しく、巨大化した台風直撃やゲリラ豪雨、線状降水帯などによる風水害はいつ起きてもおかしくない状況にあります。

災害対策の3つの要素として「自助」「共助」「公助」が挙げられます。

「自助」 自分で自分と家族を守る

「共助」 地域の人達や地域団体、事業者が助け合って守る

「公助」 町や消防・警察などの公的支援

今回の訓練は「共助」の災害対策を中心に行われましたが、町民の皆さんも災害に備えて防災グッズや非常食を揃え、避難指示が発令された場合の避難ルートや避難場所の確認など、「自助」についても改めて対策を検討いただけると有り難いです。町としても、町民の皆さんが安心・安全に暮らせるよう、しっかりと防災力の強化に取り組んでまいります。

皆野町長 柴崎 勉